

ザ・エイゼン されど営繕

加藤幸治^[かとう・こうじ]介護老人保健施設ニコニコ苑(秋田県)
施設環境・車輛部 部長

はじめに

私は、中途採用で2003年4月より医療法人久幸会に入職し、医療・介護・福祉業界で初めて働かせていただくことになりました。前職では電子機器設計・製造関係の会社に勤務しており、ポケットベルの筐体設計全般を手がけておりました。その間、いつか役に立つだろうと、3級自動車シャシ整備士・3級自動車ガソリン・エンジン整備士、2級ボイラー技士、大型自動車第一種免許、大型特殊自動車免許など、機会を見つけてさまざまな資格を取得しておりました。そのかいあって、当法人への入職が叶ったということでしょうか。

施設紹介

医療法人久幸会介護老人保健施設ニコニコ苑は、秋田県秋田市の北部に位置する病院併設型の老健施設です。秋田市の人口は約30万人。高齢化率は32%と、全国トップの秋田県内では最下位にあります。

当施設は1989年に建てられ、築34年が過ぎました。天井スペースが広く、外光を多く取り入れた明るくゆとりある設計により、開放感に溢れています。

業務について

部署の正式名称は、施設環境・車輛部といい、男性職員ばかり15名が在籍しております。平均年齢は57歳となっており、部内にも高齢化の波が来ております(笑)。全員が中途採用職員で、当施設の入職をきっかけに設備管理の業務に携わり始めました。勤務年数は、半年から20年とさまざまです。

業務内容は、送迎に始まり、車両の維持管理、

各種法定検査の立ち会い、そして建物に付随する機械設備の維持管理はもとより、軽微な修繕、車いすの修理、給排水不具合の対応、植栽の維持管理、北国ならではの冬期間の除排雪作業等、多岐にわたっております。

部内15名が一丸となって、「報連相」を密にし、互いに教え合い、補い合って、日々の業務を行っております。

施設内では、あくまでもご利用者が主人公。生命を守る重大な使命を担っているのが看護師・介護職、営繕担当の私たちは、「縁の下の力持ち」というところでしょうか。

私は、ご利用者や職員へ、安全・安心な生活環境を提供できるよう、維持管理していくことこそが営繕業務だと思っております。

蛇口を開くと水が出る、照明のスイッチを入れると明かりがともる、空調のスイッチを入れると冷風・温風が出てくるといった、当たり前のことを維持していけるよう、日々努めております。

あるとき、居室の蛍光灯ランプの交換依頼があり、ご利用者が在室の状況でランプ交換を行いました。点灯確認をし、作業が終了したことをご利用者に報告した際に、「ありがとう!」とお礼の言葉をかけていただきました。普通の業務としてランプ交換作業を行っただけだったのですが、その一言に、なんともいえない心地よい温かさを心に感じたことを覚えています。

ほかにも、修繕や点検等でホールを通るとき、笑顔で声をかけてくださるご利用者がいたり、会釈をしてくださるご利用者がいたり、そんな小さなふれあひも、私たち営繕担当者に元気を与えてくれています。

ご利用者に四季を感じてもらえるよう、敷地内の